

“今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

最初のISS構成要素打上げから1369日経過しました
第5次長期滞在クルーのISS滞在は74日経過しました

ISS動向

8月16日に第5次長期滞在クルーは第1回目の船外活動を行いました。宇宙服を着用するときに宇宙服の酸素ボトルの栓を開く手順を飛ばしてしまい、もう一度やり直すことになったため、船外活動時間が短くなってしまいました。その結果、ロシア居住モジュール「ズヴェズダ」ヘデブリ防護パネルの取付けは終了しましたが、ロシアの材料曝露実験装置の取付けは次回の船外活動で行うことになりました。次回は8月22日に行われる予定ですが、作業内容が変更されるため、実施が遅れる見込みです。現在、NASAとロシアの専門家たちで手順や日程を調整中です。

その他、植物成長実験などの科学実験や観測用の地球画像撮影を行うとともに、ISS内のシステムの装置交換などの保守作業を行っています。

これからの予定（米国時間）

- ・8月22日以降 2回目の船外活動
(NASAの微小粒子捕獲・材料曝露装置の1回目の回収、ザーリヤの冷媒ポンプ外側パネルの交換)
- ・9月20日 プログレス無人補給船の打上げ
(打上げ地:バイコヌル宇宙基地、カザフスタン共和国)
- ・9月28日以降 スペースシャトル・アトランティス号打上げ(アメリカ)
(ISSへS1トラスの取付け)



船外活動でISS外壁に取り付ける装置を準備中のコルゾン宇宙飛行士（ロシア）



船外活動で使用するロシアの宇宙服（ISS内で撮影）

“今週のきぼう”

気密試験を控えた船内実験室を報道陣に公開

先週お伝えした通り、NASAは船内実験室の気密試験を8月20日から開始しました。また、前日の8月19日には気密試験を控えた船内実験室を報道陣に公開しました。

船内実験室は去る8月7日に宇宙ステーション試験棟から気密試験の行われる総合環境試験棟に移動され、8月12日には真空状態を作り出すスペースチャンバーに設置されました。

19日の公開には新聞社、テレビ局などが参加し、開発担当者から説明を聞くと共に船内実験室の撮影を行いました。当日は星出宇宙飛行士も宇宙飛行士の立場から感想を述べました。気密試験は8月23日まで行われる予定です。



スペースチャンバー内の船内実験室

“トピック”

工業高校の教員の皆さん筑波宇宙センターで研修中

工業高校の教員の方に最新の技術に触れていただき、授業に役立てていただくための「先端技術体験プログラム」が8月19日から22日まで筑波宇宙センターで行われています。

これは文部科学省が企画し、教員研修センターが主催するもので、全国から30名の工業高校の教員の方が参加しました。ISS、ロケット、人工衛星の各部門のNASA開発担当者が講義し、宇宙開発技術に関する最先端の知識を深めていただきます。初日の19日には星出宇宙飛行士との懇談も行われ、有人宇宙に関する知識も深めていただきました。



講義の模様